

# 第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー 学会総会ランチョンセミナーの御案内

謹啓、先生方におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、下記の様に第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会  
ランチョンセミナーを開催させて頂く事となりました。  
御多忙とは存じますが御参加賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

## 記

日時：令和4年10月28日（金） 12：30～13：30

場所：パシフィックホテル沖縄  
第2会場「カネオヘ」

沖縄県那覇市西3-6-1 TEL 052-683-7711

### 演者

京都府立医科大学大学院 医学研究科  
内分泌・乳腺外科学 阪口 晃一 先生

『術後ホルモン療法におけるQOLと副作用対策』

### 司会

東北大学大学院医学系研究科  
乳腺・内分泌外科学分野 石田 孝宣 先生

※当日は現地開催のみとなります。

後日、参加登録者宛にオンデマンド配信(11月11日～11月30日)  
が御座います。

お問い合わせ先 大塚製薬(株)名古屋支店 ニュートラシューティカルズ事業部 金井一記  
TEL 052-961-8171(代表) FAX 052-971-0959(代表)



共催

第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会  
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部

# 『術後ホルモン療法におけるQOLと副作用対策』

京都府立医科大学大学院 医学研究科  
内分泌・乳腺外科学 阪口 晃一 先生

## 概要

近年TAM10年投与が推奨されている。  
そしてN-SAS-BC05によりAI剤も長期投与が予想される。  
AI剤の長期投与を妨げる要因として骨量低下や関節痛が挙げられるが、安全な長期治療継続を可能にするため予防的に対策が重要となる。  
イソフラボン製剤などわれわれが行っている副作用対策について述べたい。  
そしてCDK4/6阻害剤の安全な継続治療のために行っているテレフォンフォローアップについても紹介したい。

お問い合わせ先

大塚製薬(株)名古屋支店 ニュートラシューティカルズ事業部 金井一記  
TEL 052-961-8171(代表) FAX 052-971-0959(代表)



共催

第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会  
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部